



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月6日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9074 URL <https://www.jot.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 昌一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長兼資産運用部長 (氏名) 吉野 大祐 (TEL) 03(5496)7671  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	28,044	4.2	1,284	41.7	1,524	36.5	1,023	23.9
2025年3月期第3四半期	26,902	6.0	906	48.5	1,116	38.6	826	47.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,497百万円 (163.0%) 2025年3月期第3四半期 949百万円 (△17.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	309.48	—
2025年3月期第3四半期	249.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	46,862	28,113	60.0
2025年3月期	43,279	25,947	60.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 28,113百万円 2025年3月期 25,947百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	50.00	—		
2026年3月期（予想）				90.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当70円00銭 記念配当20円00銭

詳細は、本日（2026年2月6日）公表の「2026年3月期（第109期）期末配当予想の修正（増配および創立80周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,200	3.0	1,800	15.8	2,000	13.8	1,300	2.9	393.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）一 、除外 1社（社名）株式会社ニュージェイズ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	3,322,935株	2025年3月期	3,322,935株
2026年3月期3Q	15,966株	2025年3月期	15,791株
2026年3月期3Q	3,307,052株	2025年3月期3Q	3,307,297株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P 2 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(企業結合等関係の注記) .....	9
(重要な後発事象の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にありますが、諸物価の高騰に加え、アメリカの関税政策の影響や為替相場の急激な変動等も懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましても、原材料価格の高騰や、乗務員の高齢化等を背景とした人手不足の深刻化など、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画（2024年度～2026年度）のもとで、安全・安定輸送による輸送数量の確保やシェア拡大、新規案件の獲得に向け注力いたしました。また、適正な運賃・料金の収受へ向けた対応にも取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、石油輸送事業および高圧ガス輸送事業における増収により、28,044百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は1,284百万円（同41.7%増）、経常利益は1,524百万円（同36.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,023百万円（同23.9%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### （石油輸送事業）

鉄道輸送におけるタンク車使用料の改定および自動車輸送における主要顧客の運賃改定等により、売上高は13,385百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は925百万円（同58.2%増）となりました。

#### （高圧ガス輸送事業）

LNG輸送における新規輸送および需要増に加え、運賃改定の進捗等により、売上高は7,118百万円（前年同期比4.8%増）となりました。一方、利益面においては人件費や成長投資に伴う経費の増加により、48百万円のセグメント損失（前年同期は93百万円のセグメント損失）となりました。

#### （化成品・コンテナ輸送事業）

化成品輸送においては、国内は堅調に推移いたしましたが、海外における輸送需要の低迷等により、売上高は減少いたしました。

コンテナ輸送においては、北海道地区における野菜類の生育不良等により、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は7,145百万円（前年同期比1.1%減）となりましたが、減価償却費等の経費の減少により、セグメント利益は202百万円（同2.6%増）となりました。

#### （資産運用事業）

不動産事業における既存物件の建て替えに伴う一時的な減収等により、売上高は395百万円（前年同期比0.2%減）となりました。また、修繕費の増加によりセグメント利益は204百万円（同5.5%減）となりました。

### （2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は46,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,583百万円増加いたしました。

流動資産は12,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円増加いたしました。これは主に季節変動による受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことによるものであります。固定資産は34,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,329百万円増加いたしました。これは主に設備投資によりリース資産およびコンテナが増加したことに加え、投資有価証券が時価変動により増加したことによるものであります。

負債は18,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,416百万円増加いたしました。これは設備投資をリースにより調達したことからリース債務が増加したことによるものに加え、投資有価証券の時価変動により繰延税金負債が増加したものであります。純資産は28,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,166百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同水準の60.0%となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年11月7日の決算発表にて公表いたしました業績予想値より変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,621	5,235
受取手形、売掛金及び契約資産	3,912	4,313
有価証券	1,800	1,800
その他	777	1,016
流動資産合計	12,111	12,365
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,254	2,475
コンテナ（純額）	2,189	2,508
土地	5,920	5,920
リース資産（純額）	8,363	9,026
その他（純額）	2,770	2,712
有形固定資産合計	21,498	22,644
無形固定資産		
ソフトウェア	364	314
その他	34	48
無形固定資産合計	399	362
投資その他の資産		
投資有価証券	7,309	9,648
退職給付に係る資産	72	34
その他	1,887	1,807
投資その他の資産合計	9,270	11,490
固定資産合計	31,167	34,497
資産合計	43,279	46,862
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,810	1,873
短期借入金	316	357
リース債務	2,276	2,337
未払法人税等	327	138
賞与引当金	969	519
役員賞与引当金	104	70
その他	1,816	2,272
流動負債合計	7,620	7,569
固定負債		
リース債務	6,141	6,756
修繕引当金	463	561
退職給付に係る負債	1,531	1,569
その他	1,575	2,292
固定負債合計	9,711	11,179
負債合計	17,331	18,748

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	21,384	22,076
自己株式	△38	△39
株主資本合計	23,297	23,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,559	4,079
繰延ヘッジ損益	△0	1
退職給付に係る調整累計額	90	43
その他の包括利益累計額合計	2,649	4,124
純資産合計	25,947	28,113
負債純資産合計	43,279	46,862

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	26,902	28,044
売上原価	24,091	24,768
売上総利益	2,810	3,275
販売費及び一般管理費	1,904	1,991
営業利益	906	1,284
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	194	242
固定資産売却益	22	22
持分法による投資利益	32	50
雑収入	89	75
営業外収益合計	339	395
営業外費用		
支払利息	80	108
固定資産除売却損	26	10
雑損失	21	35
営業外費用合計	129	155
経常利益	1,116	1,524
特別利益		
国庫補助金	-	29
投資有価証券売却益	201	-
特別利益合計	201	29
特別損失		
固定資産圧縮損	-	29
事務所移転損失	41	-
減損損失	28	-
特別損失合計	69	29
税金等調整前四半期純利益	1,248	1,524
法人税等	422	501
四半期純利益	826	1,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	826	1,023

## （四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	826	1,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	1,492
繰延ヘッジ損益	0	1
退職給付に係る調整額	8	△46
持分法適用会社に対する持分相当額	3	26
その他の包括利益合計	123	1,474
四半期包括利益	949	2,497
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	949	2,497
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社エネックスを存続会社、当社の連結子会社であった株式会社ニュージェイズを消滅会社とする吸収合併を行ったため、株式会社ニュージェイズを連結の範囲から除外しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	2,778百万円	2,964百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	石油輸送	高圧ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	資産運用	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,490	6,794	7,221	395	26,902	—	26,902
セグメント間の内部売 上高又は振替高	384	3	70	—	458	△458	—
計	12,875	6,797	7,292	395	27,361	△458	26,902
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	584	△93	197	216	906	—	906

(注) セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	石油輸送	高圧ガス輸送事業	
減損損失		28	28

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	石油輸送	高圧ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	資産運用	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,385	7,118	7,145	395	28,044	—	28,044
セグメント間の内部売 上高又は振替高	402	3	4	—	409	△409	—
計	13,788	7,121	7,149	395	28,454	△409	28,044
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	925	△48	202	204	1,284	—	1,284

(注) セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（企業結合等関係の注記）

（共通支配下の取引等）

連結子会社間の吸収合併

当社は、2024年11月29日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社エネックスを存続会社、当社の連結子会社である株式会社ニュージェイズを消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2025年4月1日に以下のとおり合併を完了しております。

1. 取引の概要

（1）結合当事企業の名称およびその事業の内容

①吸収合併存続会社

結合企業の名称 株式会社エネックス

事業の内容 石油製品・高圧ガス・石油化学製品等の自動車輸送および油槽所管理

②吸収合併消滅会社

被結合会社の名称 株式会社ニュージェイズ

事業の内容 高圧ガス・石油化学製品等の自動車輸送および自動車整備

（2）企業結合日

2025年4月1日（効力発生日）

（3）企業結合の法的形式

株式会社エネックスを吸収合併存続会社、株式会社ニュージェイズを吸収合併消滅会社とする吸収合併

（4）結合後企業の名称

株式会社エネックス

（5）その他取引の概要に関する事項

株式会社ニュージェイズは2025年3月31日現在、主に高圧ガス・石油化学製品等の自動車輸送や自動車整備事業を展開しておりましたが、日本石油輸送グループにおける自動車輸送の中核会社である株式会社エネックスが株式会社ニュージェイズを吸収合併することで、経営資源の集約や重複業務の排除による、グループ全体の経営効率化および営業基盤の一層の強化を目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2024年11月1日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

（重要な後発事象の注記）

（本社の移転について）

当社は、2026年2月6日開催の取締役会において、本社の移転について決議いたしました。

1. 本社移転の理由

当社グループの持続的成長をめざし、社員の働く環境の改善およびオフィス機能の拡充を図るものです。

2. 本社移転先

（1）所在地

東京都品川区東五反田二丁目

（2）移転日

2027年夏頃を予定

3. 業績に与える影響

本件に伴う関連費用は、現在精査中です。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。